

事業所名	多機能型通所支援事業所 あさてい	支援プログラム（放課後等デイサービス）	作成日	2025年5月10日
法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> すべての子どもたちが自分らしく、安心して成長できる社会の実現を目指し、子ども一人ひとりの発達と尊厳を大切に支援を行う 支援を通じて「今」だけでなく『未来』（明後日）』に続く可能性を育み、家庭や地域とともに子どもの人生を支える結び目となる支援を行う 			
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの発達特性や家庭の状況を踏まえ、一人ひとりの可能性を最大限に引き出す支援を行う。 保護者や地域社会と連携しながら、安心して通える環境の中で、楽しみながら学び、成長できる機会を提供する。 			
営業時間	①14時00分から17時00分まで	②9時00分から17時00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容				
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近自立の支援 → 手洗い、うがい、歯磨き、排泄、衣服の着脱など、基本的な生活動作の獲得 ・ 視覚的支援（写真・絵カード等）やスモールステップによる指導 ◆食育活動の推進 → おやつ作りや栽培活動を通じて、食に関する興味関心や偏食の改善を目指します ◆健康管理と安全意識の向上 → 体調の変化に気づく力（頭痛、腹痛、発熱などの自覚）を養う声かけ ・ 交通ルールや避難訓練を通じた安全意識の定着 ◆生活リズムの安定化 → 放課後の時間の過ごし方や帰宅後の性格TIに関する相談支援 ・ 家庭との連携による生活リズムの共有と調整 ◆感覚過敏・鈍麻への配慮 → 視覚、触覚等の感覚過敏に対する個別対応（ヘッドホン使用や環境調整） ・ 安心して通える環境づくり（スケジュールの見通し提示、クールダウンスペースの確保） 		
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ◆粗大運動の支援 → マット運動・平均台・トランポリン・ボール遊びなどを取り入れ、バランス感覚や筋力、持久力の向上を図ります ◆微細運動の支援 → 工作、紐通し、折り紙、パズルなど、手先の巧緻性や目と手の協応動作を育てる活動を行います ◆感覚遊び・感覚統合活動 → 触覚、前提感覚、固有受容感覚へのアプローチとして、砂・粘土・水・揺れ遊び・ポディーイメージづくりを行います ◆アニマルセラピー・自然活動との連動 → 動物とのふれあいや自然の中での活動を通して、感覚刺激への適応力や自己調整力の向上を目指します ◆日常生活動作との連携 → 体を使った遊びと日常の動作（食事、着替え、移動など）を結び付け、自立支援に繋げていきます 		
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ◆構造化された活動 → 視覚的なスケジュールや手順書を用いて、子どもが見通しを持ちやすい環境を整え、集中力や自己管理能力を高めます ◆課題解決力の育成 → 簡単なルールのあるゲームやクイズ、課題分割された学習活動を通じて、思考力・判断力・問題解決能力を養います ◆自己コントロール支援 → 怒りや不安などの感情を言葉で表現する練習や、落ち着くための方法（クールダウン、感情カードなど）を学びます ◆成功体験の積み重ね → 達成しやすい課題や役割を設定し、「できた！」という実感を積み重ねて、自己肯定感を育てます ◆個別支援と集団支援のバランス → 個々の特性に合わせた認知課題と、他児との関わりの中で行動調整の両面から支援を行います 		
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ◆言葉発達に応じた個別支援 → 発語や発音、語彙の拡充など、個々の発達段階に応じた言語訓練を行います（必要に応じて、言語聴覚士との連携も視野にいれます） ◆コミュニケーションツールの活用 → 視覚支援（絵カード、スケジュールボードなど）やAAC（補助代替コミュニケーション）を使用し、理解と表出の両面を支援します ◆ロールプレイやごっこ遊び → 日常の会話ややりとりを模した活動を通じて、会話の順番や気持ちの伝え方、場面に応じた言葉の使い方を学びます ◆読み聞かせ・語りかけの時間 → 絵本の読み聞かせや日々のやりとりの中で、豊かな言葉に触れる機会を提供し、言語理解の基盤を築きます ◆集団での活動を通じた相互コミュニケーション支援 → ゲームやグループ活動を通して、「聞く」「話す」「待つ」「譲る」といった社会的スキルも含めたコミュニケーション力を育てます 		
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ◆あいさつ・順番・約束を守る練習 → 日常生活や遊びの中で、基本的な社会的マナー（あいさつ、順番を待つ、約束を守る）を繰り返し学ぶ機会を設定します ◆集団活動を通じた協調性の育成 → 制作活動やゲーム、イベントなどのグループ活動に参加し、他児との関わりの中で「協力する」「譲る」「助け合う」経験を積みます ◆気持ちの表現とコントロールの支援 → 「うれしい」「くやしい」「かなしい」など自分の感情を言葉や絵で表す活動や、怒りや不安への対応方法を一緒に考える支援を行います ◆ロールプレイによる社会的スキルの習得 → 学校や公共の場など日常生活に即したシーンを設定し、対人スキルを身につける練習をします ◆トラブル時の対処法の指導 → 友達との意見の違いやトラブルが起きた時に、「どうしたらよいか」を考える練習を通じて問題解決力を育みます 		
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な個別面談・相談支援の実施 ・月1回以上のペースで保護者と面談を行い、家庭での様子や悩み、今後の支援方針を共有します（必要に応じて随時相談対応も行います） ○家庭との情報共有と連携の強化 ・連絡や送迎時の声かけを通じて、日々の活動や子どもの様子を丁寧に報告。 ・双方向のコミュニケーションを重視します ○家庭での関わりに関する助言 ・子どもの特性に応じた接した方、生活リズムやしつけの工夫など、家庭で実践できる支援方法を具体的に アドバイスします ○保護者向け勉強会・交流会の開催 ・子どもの発達理解や対応方法について学べる場や保護者同士の交流・情報共有の場を提供します ○関係機関との連携を通じた支援体制の構築 ・学校や医療、相談支援正職員等と連携し、必要に応じて会議や連絡調整を行い、保護者が孤立しない支援体制を整えます 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ○将来に向けた進路相談・情報提供 ・保護者、本人の希望に寄り添いながら、進学・就労支援の選択肢や地域資源の情報提供を行います ○日常生活スキルの育成 ・見だしなみ、時間の管理、買い物、金銭管理など、将来必要となる基本的な生活力を段階的に指導します ○就労や作業体験の道徳 ・軽作業や職業理解の機会（事業所内外）を通じて、働くことへの関心やスキル育成を促します ○社会資源との連携 ・就労支援機関、相談支援専門、学校等と連携し、個別移行支援計画の策定や支援会議を実施します ○本人の自己理解の促進 ・自分の得意・不得意、できること・苦手なことを客観的に把握し、将来の選択につなげていきます 	
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ○学校との連携 ・担当や特別支援教育コーディネーター等と連絡を取り合い、日常の様子や支援の方向性を共有します ○相談支援専門員 ・医療機関との連携・個別支援計画作成にあたり、相談支援専門員・協力医療機関と情報共有を行い、適切な 支援につなげます ○地域イベントやボランティア活動への参加 ・地域のお祭りや清掃活動などに参加し、子どもたちの地域参加の機会を設けます ○保育園・こども園・幼稚園との情報交換 ・年齢の近い兄弟や地域の子どもの関わりを深めるため、交流の機会を模索します ○地域との関係構築 ・事業所内で地域の方向けに見学会や公開講座を実施し、障がい児支援への理解を広める取り組みを行います 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的な内部研修実施 ・発達障がい理解、虐待防止、個別支援計画作成、リスクマネジメントなどをテーマとした研修を月1回実施します ・事例検討会を通じて、実践力と問題解決力を向上させます ○外部研修・講習会への参加促進 ・自治体や民間主催の研修に積極的に参加し、最新の支援方法や制度に関する知見を得ます ○OJTによる育成体制の構築 ・経験豊富な職員に対し、現場での実践を通じた直接的な指導を行います ○職員の意見交換・振り返りの場の確保 ・毎週のミーティングで支援内容の振り返りや改善提案を共有、職員の主体性とチーム力を育む ○職員のメンタルケア・働きやすい職場環境づくり ・適正な業務配分、休暇取得の推進、困りごとの早期把握など、心身の健康を守る体制を整えます 	
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ●4月 はじまりの会 ●7月 七夕制作・水遊び ●10月 ハロウィン制作・仮装ごっこ ●1月 お正月遊び（こま、福笑い） 	<ul style="list-style-type: none"> ●5月 こいのぼり制作・自然体験 ●8月 夏祭りごっこ・スイカ割り ●11月 自然体験活動（収穫体験、外遊び） ●2月 節分（豆まき）・バレンタイン制作 	<ul style="list-style-type: none"> ●6月 雨の日遊び・あじさい工作 ●9月 敬老の日制作・地域訪問（手紙渡しなど）・防災訓練 ●12月 クリスマス会・もちつき ●3月 お別れ会・1年のふりかえり会 	